

《企業紹介》

同社はマサンコンシューマー（国内最大の調味料、食料品及び各種飲料の製造販売業）、ウィンコマース（スーパーマーケットやコンビニエンスストアを展開する小売業）、マサンミートライフ（高いブランド力を誇る国内最大の食肉事業）、マサンハイテクメタルズ（タングステンやビスマスなどのレアメタルの採鉱・製錬を行う非鉄金属事業）の4社を中核とするコングロマリットである。このうち、2025 年 12 月にマサンコンシューマーはホーチミン証券取引所に株式を公開した。

《2026 年 4－6 月期業績》

2026 年 4－6 月期の売上高は前年同期比 53.5%増の 28.1 兆 VND（ベトナムドン）だった。マサンコンシューマーの売上高は同 14.2%増の 7.1 兆 VND だった。高付加価値化戦略の進捗、調味料やインスタント食品のシェア回復、新たに取り組んでいる家庭用洗剤や美容用品といった製品群の拡販が売上高を押し上げた。なお、同社によれば、RS(リテール・スープリム)戦略は順調に進捗し、増収に大きく貢献したとのことである。次のステージとして、販売ネットワークの生産性向上を目指す考えも明らかにしている。ウィンコマースの売上高は同 27.4%増の 11.6 兆 VND となった。全ての店舗フォーマットの既存店売上高が高水準で伸びたうえ、新規出店も順調だったことが貢献した。マサンミートライフの売上高は同 14.7%増の 2.6 兆 VND だった。精肉および加工食肉ともに好調だったが、特に加工食肉の増加ペースの貢献が大きかった。フックロンの売上高は同 26.9%増の 5,500 億 VND だった。規律の取れた店舗網拡大に加え、デリバリー売上高の増加もプラスとなった。マサンハイテクメタルズの売上高は同 404.1%増の 8.1 兆 VND となった。半導体の製造などにも使われる超硬切削工具向けの需要拡大に加え、中国からの供給に不安が生じていることによって販売数量が急増したうえ、需給関係の逼迫を受けて価格が上昇し、前年同期比 5 倍という大幅な増収となっている。

図表1 事業セグメント別業績の推移（四半期、単位十億VND）

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	18,315	-9.0	21,164	-1.5	23,246	2.6	24,020	27.1	28,118	53.5
マサンコンシューマー	6,276	-15.1	7,517	-5.9	9,275	3.7	8,472	13.1	7,165	14.2
ウィンコマース	9,130	16.4	10,544	22.6	10,520	22.9	11,363	29.3	11,629	27.4
マサンミートライフ	2,340	30.7	2,384	23.1	2,437	10.6	2,479	19.8	2,683	14.7
フックロン	434	10.8	516	21.2	518	21.2	569	34.2	550	26.9
マサンハイテクメタルズ	1,614	-55.8	2,041	-45.2	2,395	-38.1	2,993	114.9	8,138	404.1
EBITDA	3,748	-2.0	4,453	5.2	5,070	10.7	4,976	24.3	7,014	87.1
マサンコンシューマー	1,605	-12.9	2,021	-7.4	2,460	-5.1	2,142	11.6	1,800	12.1
ウィンコマース	314	83.1	506	54.7	611	11.0	510	40.9	477	51.9
マサンミートライフ	223	78.3	260	56.6	316	35.5	311	74.7	328	47.2
フックロン	80	13.0	94	35.1	100	12.0	118	45.7	110	37.4
マサンハイテクメタルズ	563	-3.2	489	4.6	706	14.0	1,050	154.2	2,492	342.7
テコム銀行貢献分	1,216	-1.6	1,242	9.4	1,362	86.1	1,316	11.8	1,450	19.2
金融収支（純額、マイナスは受取超過）	1,021	-27.3	1,212	3.0	1,283	-	1,470	-	1,326	-
税前利益	1,846	57.9	2,152	37.4	2,667	0.4	2,320	89.8	4,163	125.5
純利益	1,032	105.4	1,209	72.4	1,474	113.3	1,246	216.6	3,125	202.8

注1 EBITDAは税支払前、金利支払前、償却費等の現金支出を伴わない費用控除前の営業利益

注2 売上高とEBITDAのセグメント別の合計と全社との間に若干の差異が生じるのは各子会社の会計処理などに起因する

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260804

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

マサングループ(MSN)



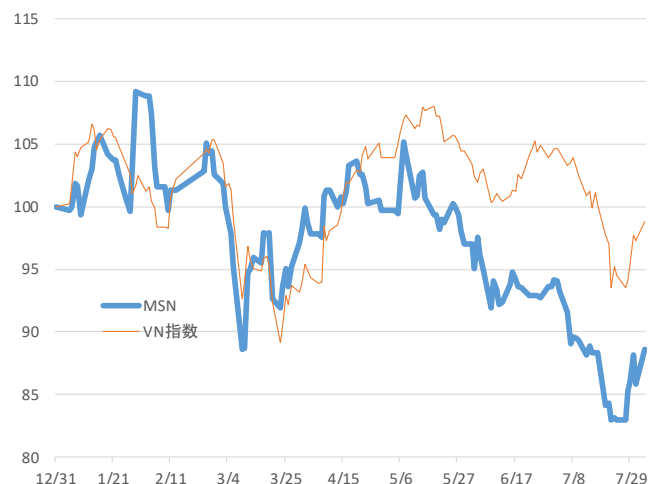
全社の EBITDA は同 87.1% 増の 7.0 兆 VND だった。マサンコンシューマーの EBITDA は同 12.1% 増の 1.8 兆 VND だった。粗利益率は改善したが、物流コストや商品開発コストの上昇が EBITDA マージンを若干低下させた。ウィンコマースの EBITDA は同 51.9% 増の 4,770 億 VND と、既存店売上高の好調が新規出店コスト増を吸収し、1—3 月期に続いて売上高の増加ペースを上回る伸びをみせた。マサンミートライフの EBITDA は同 47.2% 増の 3,280 億 VND だった。販売数量の増加と販売価格の安定に加え、採算の良い加工食肉の販売構成比拡大が貢献したとみられる。フックロンの EBITDA は同 37.4% 増の 1,100 億 VND だった。デリバリーによる売上が店舗の生産性向上に貢献した。マサンハイテクメタルズの EBITDA は同 342.7% 増の 2.4 兆 VND だった。需要の急増に対して生産出荷体制が追い付かず、外注費用などが一時的に発生したため、売上高に対する EBITDA のマージンが低下した。ただし、既に生産能力の増強を進めており、今後のマサンハイテクメタルズの EBITDA マージンは改善が期待できるとのことである。テクコム銀行からの貢献分は同 19.2% 増の 1.4 兆 VND だった。

《株価の推移》

同社の株価と VN 指数の 2025 年の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 だ。同社の株価は 2026 年の年初からほぼ VN 指数と連動していたが、5 月中旬以降にアンダーパフォームが顕著になっている。8 月 3 日終値ベースでは、VN 指数が 2025 年末比 1% の下落となっているのに対し、同社の株価は 11% の下落となっている。7 月 29 日終値 68,200VND で計算した同社の時価総額は 99.5 兆 VND で、これは 2025 年 12 月期実績の純利益 4.1 兆 VND の 24 倍となっている。

同社は 2026 年 12 月期業績計画を上方修正し、売上高を従来の 93.5～98.0 兆 VND から 98.0～105.0 兆 VND (前期比 20～29% 増)、税引後利益を従来の 7.25～7.9 兆 VND から 10.0～11.5 兆 VND (同 48～70% 増) とした。新たな計画の下限で計算した 2026 年 1—6 月累計実績の進捗率は、売上高が 53%、税引後利益が 58% となっている。予想を超えるレアメタルの好調に加え、商品力の強化や RS 戦略の順調な進捗もあって計画の消化状況も良好となっているようだ。

図表 2 株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260804

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。